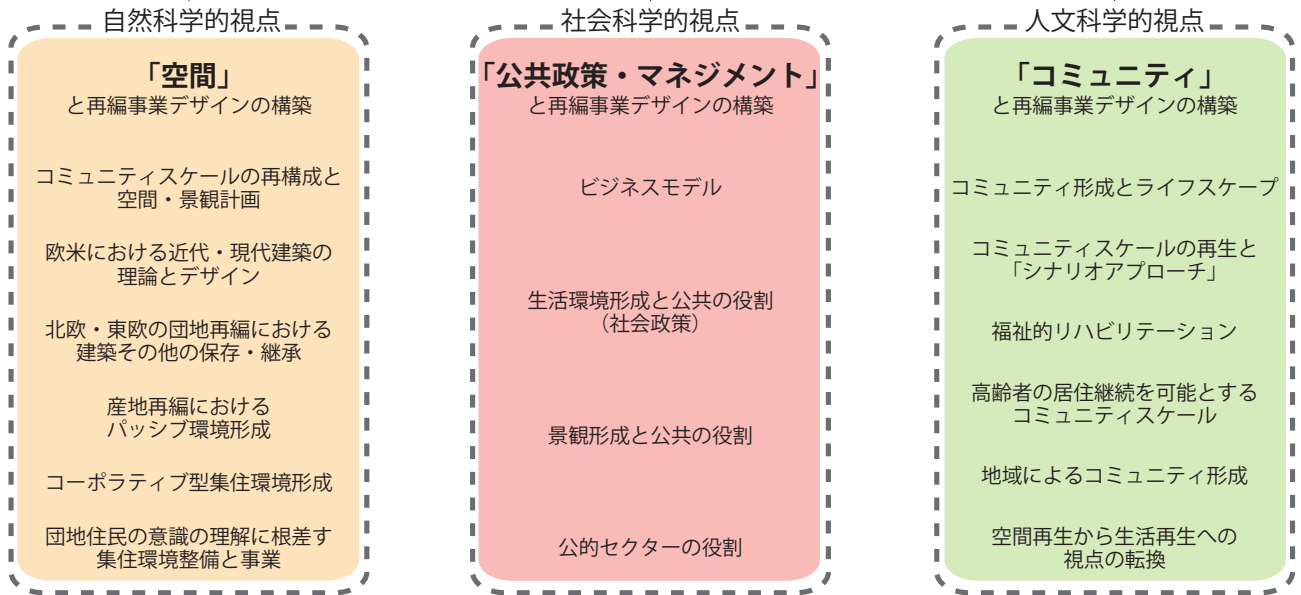


研究担当者の団地再編イメージ

文部科学省 私立大学 戦略的研究基盤形成支援事業
『集合住宅“団地”の再編（再生・更新）手法に関する技術開発研究』

MARCH 2012
VOL. 063

集合住宅“団地”の再編（再生・更新）手法に関する技術開発研究



団地再編プロジェクトの進め方

わが国の人口拡大・都市化の時代に大量に建設された公的集合住宅団地は、住宅の老朽化や設備の陳腐化などの物理的な問題のみならず、高齢化率の上昇やコミュニティの弱体化などの社会的問題をも抱えている。その数は膨大で、今後の公的事業としての維持も困難を極める。平成23年度から始まった本プロジェクトの目的は、事業主体が造りやすく管理しやすい画一的な空間構成となっているこのような集合住宅団地を、住宅および環境ストックの活用を図りつつ、住民が守り育て自立的に更新していけるような“まち”に再編し、また適切な公・民の事業、あるいは、公、社（ソーシャル）、民の事業に再編する技術を開発し実践に活かすことにある。

本プロジェクトは、団地再編の総合的な課題を、「空間」「コミュニティ」「公共政策・マネジメント」の3つの分野からの検討と、それらをいかに

実践的に総合化させるかという視点から進める。

研究担当者の構成

本プロジェクトの特徴のひとつは、研究担当者の構成にある。本プロジェクトの目指すところは、技術開発研究であるので、拠点リーダーの江川を始め、学内推進研究者である末包、学外推進研究者である大坪、小玉、藤本、星田、安原は建築家である。また、メンバーのほとんどが研究者であり、実務経験者でもある。集合住宅等の設計業務をともに行った経験のある旧知のメンバーもいるが、今回初めて顔を合わせたメンバーもいる。平成23年9月以降行われた複数回の連絡会議や、メンバーによるレクチャー、レクチャー後の意見交換会で、それぞれの考えを確認

しているところである。今後、メンバーそれぞれの専門とする分野、専門とする領域、実務経験から得られた知見を活かしながら、具体的な団地再編の提案を進めつつ、ガイドラインを作成していく予定である。

■ 団地再編プロジェクトメンバー

氏名	所属	専門分野
江川 直樹	関西大学	建築設計(集住環境) 建築環境デザイン
岡 絵理子	関西大学	集合住宅、市街地建築 住宅地、住環境
大坪 明	武庫川女子大学	集合住宅及び集合住宅団地の設計 建築計画 地域計画
糟谷 佐紀	神戸学院大学	福祉工学 建築環境・設備
小浦 久子	大阪大学	都市計画 環境デザイン
小玉 祐一郎	神戸芸術工科大学	建築環境計画、建築設計 パッシブデザイン
末包 伸吾	関西大学	建築意匠
高田 光雄	京都大学	建築意匠、建築構造 都市計画、建築環境 建築材料
鳴海 邦碩	関西大学	都市計画 都市環境デザイン
橋寺 知子	関西大学	近代建築史
林 泰義	計画技術研究所	都市計画
平山 洋介	神戸大学	住宅研究 都市研究
藤本 昌也	現代計画研究所 日本建築士会連合会	集合住宅の設計など
星田 逸郎	星田逸郎空間都市研究所	住宅・集合住宅 住宅地・都市設計
室崎 千重	兵庫県立 福祉のまちづくり研究所	福祉住環境計画 建築計画
安原 秀	OLAの会	コーポラティブ住宅のコーディネーター

研究担当者それぞれのイメージ

本プロジェクトでは、団地再編の総合的課題として、「空間」「公共政策・マネジメント」「コミュニティ」の3つの大きな柱を設定しており、一応の担当分野を決めた上でプロジェクトへの参画をお願いしているが、研究担当者の団地再編への思いは、しばしばその枠を超えていく。

以下で、本プロジェクト研究担当者による団地再編イメージを、プロフィールシートからひろいだして紹介する。

- ・居住者の思いに寄り添い、その思いを把握した上で、居住者が生き様を変えることを問いかける。
- ・団地再編は、まち再生：団地再生を都市的単位での事業として捉える。団地再編は都市戦略である。
- ・団地再編の成功の鍵は、住民のエンパワーメントを最大限に引き出す住民自らの努力と、事業者や自治体の積極的働きかけにある。
- ・団地再編は、団地の敷地を自由空間として担保すること、団地の敷地を、町の広場として様々な活動の場として町へ返していく。
- ・歩いて暮らせるまちへの再編、気遣い合えるまちへの再編、さまざまなライフステージの暮らしを支える機能を備えたまちへの再編。
- ・「団地カルテ」による団地住民が生き活きと生活することのできる生活環境の実現、「団地マネージャー」の提案。
- ・人と人との絆、愛着をもって暮らすことのできるまちへの再編。
- ・団地再編により、地球環境負荷の小さい地域社会の形成。
- ・「集まってすむこと」をメリットと感じることでできる環境をつくる。

- ・現在の居住の持続性を担保を目指した、多様な選択肢のある団地再編技術が、居住層の多様化を生み出し、望ましい団地再編へと結びつく。
- ・団地の再編に求められるのは、人と人、人と自然の関係の見直し。
- ・ファミリー層ではない、大人世帯、単身世帯のネットワーク的団地生活の実現、等。

■ 研究参加者の実務成果



御坊島団地再生・建て替え

都市計画学会賞(江川直樹、平山洋介)
関西まちづくり賞(江川直樹、平山洋介)等



向ヶ丘第一団地ストック再生

実証試験・住棟単位
都市住宅学会賞(星田逸郎・UR都市機構)等

以上は、研究担当者の団地再編イメージのほんの一部である。今後、研究担当者が相互に意見交換をおこない、それぞれの団地再編イメージをブラッシュアップしながら、具体的な団地再編提案に取り組んでいく予定である。



浜甲子園さくら街再生・建て替え

都市住宅学会賞(江川直樹・UR都市機構)
関西まちづくり賞(江川直樹・UR都市機構)
地域住宅計画賞(作品・業績が対象)等



若宮震災復興再生・修復型

都市住宅学会賞(江川直樹・芦屋市)
関西まちづくり賞(江川直樹・芦屋市)
地域住宅計画賞(作品・業績が対象)等

■ 関連する実践的研究業績例

テーマ	受賞名	受賞者
「NPOとまちづくりの一連の研究及び活動」	日本都市計画学会賞(石川賞)	林泰義
「都市住宅供給システムの再編に関する計画論的研究」	日本建築学会賞(論文)	高田光雄
「市街地変容と景観の地域性の保全創出に関する研究」	日本建築学会賞(論文)	小浦久子
「今こそ住宅政策を論じなければならない - 公団・公庫改革のあり方 -」	都市住宅学会賞(論説)	高田光雄
「住まいと街の仕掛人」	都市住宅学会賞著作賞	江川直樹・藤本昌也
「アーバン・クライマクス」	サントリー学芸賞	鳴海邦碩
「都市の自由空間」	不動産協会賞	鳴海邦碩

■ 同様の関連実践業績

安原 秀：
日本建築学会賞(作品賞)
日本建築学会霞ヶ関ビル記念賞(業績)
藤本昌也：
日本建築学会賞(業績)
末包伸吾：
日本建築学会作品選集
江川直樹・藤本昌也・UR都市機構：
土木学会デザイン賞

江川直樹：
日本建築士会連合会賞、奈良県建築文化賞
和歌山県ふるさと建築景観賞
兵庫県人間サイズのまちづくり賞
江川直樹・高田光雄：
関西まちづくり賞
江川直樹/末包伸吾：
日本建築家協会作品選
小玉祐一郎：
環境・エネルギー住宅賞(IBEC)等

『研究担当者の団地再編イメージ』

執筆：岡 絵理子(関西大学 准教授)

本リーフレットは、文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「集合住宅「団地」の再編(再生・更新)手法に関する技術開発研究(平成23年度~平成27年度)」によって作成された。

発行：2012年3月

関西大学
先端科学技術推進機構 地域再生センター
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3丁目3番35号
先端科学技術推進機 4F 団地再編プロジェクト室
Tel : 06-6368-1111 (内線 : 6720)
URL : <http://ksdp.jimdo.com/>